

編集・発行



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島2-9
TEL (058)-272-3561
<http://www.gifu.jrc.or.jp/>



赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています。



第3回赤十字救急法競技会を開催しました

令和2年2月16日(日)、岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム(岐阜市)において、「第3回赤十字救急法競技会」を開催しました。

この競技会では、県内各地の赤十字奉仕団など23チーム92名にエントリーしていただき、救急法講習で学んだ傷病者への応急手当(三角巾を使った止血法)や一次救命処置(AEDを用いた心肺蘇生)が、迅速かつ正確に手当てができているか、その技術と時間を競いました。

昼食には、大垣市赤十字奉仕団及び赤十字奉仕団支部指導講師が炊き出しを行い、カレーライスと豚汁が参加者に振る舞われました。

この大会に向けて何度も練習をしていただき、その成果を発揮されたことから、非常にレベルの高い競技会となりました。

CONTENTS

- 日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します 2
- 赤十字施設の活動を紹介します 3
- 赤十字講習会のご案内(6月・7月分) 4
- 義援金・救済金の受付状況 4

日本赤十字社岐阜県支部の活動を紹介します

青少年赤十字加盟校へ図書を贈呈

日本赤十字社岐阜県支部の支援団体である『岐阜県赤十字有功会』から青少年の健全育成を目的に、今回で11回目となる図書の贈呈を行いました。

今年度は、青少年赤十字加盟校77校(小学校56校、中学校16校、高等学校4校、特別支援学校1校)に図書が贈呈されました。

2月20日(木)、受領校を代表して高山市立山王小学校で開催した贈呈式では、会員代表の医療法人薫風会 理事長 高桑 薫様から児童に図書が手渡されました。

図書を受け取った図書委員長の羽田 希実さん(6年)、同副委員長の岩久 温果さん(6年)から「みんなで大切に読みます。平和や国際社会について考えたいです。」との感謝の言葉がありました。



● 贈呈図書



小学校

- 学習まんがが歴史で感動
「ポーランド孤児を救った
日本赤十字社」

※およそ100年前、シベリアに残されたポーランド孤児を救った奇跡の救出劇。人々の「善意の心」から生まれた、知られざる日本とポーランドの歴史秘話。

- 図書カード



中・高等学校・特別支援学校

- ソルフェリーノの思い出

※赤十字の創設及び国際人道法の創案の契機となったアンリー・デュナン著書の完訳本

赤十字奉仕団リーダーシップ研修会を開催しました

1月23日(木)・24日(金)、岐阜市内においてリーダーシップ研修会を開催しました。この研修会は、奉仕団の次代のリーダーとして必要とされる知識や技術を深め、様々な現場において活躍する団員を養成することを目的とし、県内42市町村に組織されている地域奉仕団から35名の団員が参加されました。

参加者は、①リーダーとしての心得②災害時の奉仕団活動について③救急法講習④健康生活支援講習(自助と互助の地域づくり)の4つの項目を学び、充実した内容となりました。



リーダーについて議論を重ねる団員



健康生活支援講習の様子

令和2年度事業計画・予算等が承認されました

令和2年度における県内4施設(日本赤十字社岐阜県支部・高山赤十字病院・岐阜赤十字病院・岐阜県赤十字血液センター)の事業計画や予算などが評議員によって審議され、全会一致で承認されました。

災害救護に備えた訓練の実施や市町村への資材整備(災害用移動炊飯器・防災倉庫・天幕・災害救援車両)、地域医療への貢献、安全で安定した血液供給、一般市民に対する救急法等の普及活動、地域におけるボランティアの育成、青少年赤十字活動の強化に取り組んでまいります。

【事業名】 令和元年度第2回日本赤十字社岐阜県支部評議員会

【開催日】 令和2年2月5日(水)

【場所】 日本赤十字社岐阜県支部 大会議室



赤十字施設の活動を紹介します

生まれてくる新しい命のよろこびのために ——

高山赤十字病院

高山赤十字病院産婦人科病棟では、昨年10月1日より個室を2部屋増設しました。壁紙や内装を変更し妊婦さんがリラックスして過ごせる雰囲気の部屋となっています。また、今年の2月からは仕事や家庭の都合などで日中病院に来ることが難しい妊婦さんのために「ゆうがた妊婦健診」を始めました。週2回17時から19時までの健診が可能となっています。(当院にかかりつけの妊婦さんに限ります)

これからも、安心・安全なお産ができる体制づくりに加え、妊産婦さんが利用しやすい環境を整えていきます。



〒506-8550 高山市天満町3-11 電話:0577-32-1111(代表)

「第35回市民公開講座」を開催しました

岐阜赤十字病院

11月23日(土)午後2時から、南館2階講堂にて「第35回市民公開講座」を開催しました。今回は、目の病気に焦点を当て、眼科市川翔先生による『誰にでも起こる…だから早期発見を！～白内障のメカニズムを学びましょう～』と題した講演、眼科岡田あかね視能訓練士による『受けていますか？目の定期健診～知ってほしい！眼科の検査が多いわけ～』と題した講演を行いました。

当日は、地域の方々約50名が参加し、検査の進め方や、白内障になる要因を、真剣な眼差しで聞き入っていました。

参加者からは、「大変分かりやすい説明で、白内障について、とても勉強になった」、「今回の講演を聞いて、定期的に眼科の受診をしようと思った」など、身近な病気ということもあり、嬉しい意見をいただきました。

【講座の様子】



〒502-8511 岐阜市岩倉町3-36 電話:058-231-2266(代表)

あかなべ・新岐阜献血ルームのイベントのお知らせ

岐阜県赤十字血液センター

献血ルームでは、今年も各種イベントをご用意しております。ぜひ初めての方もお久しぶりの方もみなさまお誘いあわせの上、献血ルームにお越しいただけますようお願いしております。

あかなべ献血ルーム 〒500-8269 岐阜市茜部中島2-10

●癒しのハンドケア

【開催日時】毎月第2、第3火曜日 13時～16時

●占い(初めて開催いたします)

【開催日時】毎月第4金曜日 10時～12時、13時30分～16時

新岐阜献血ルーム 〒500-8175 岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5F

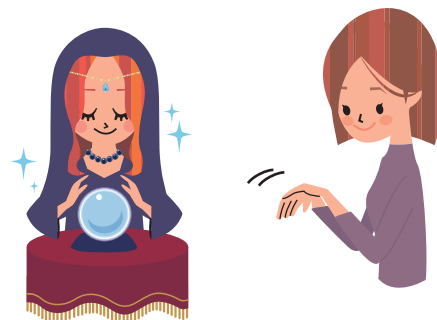
●ビューティハンドケア

【開催日時】不定期開催につき、ホームページにてご確認ください。

●占い

【開催日時】毎月第4水曜日 10時30分～12時30分、14時～16時30分

※各イベントは都合により、日程変更や中止となる場合がございます。
開催につきましては、ホームページにてご確認の上ご来所ください。



ホームページは
こちらから



〒500-8269 岐阜市茜部中島2-10 ☎ 058-272-6911(代表)

青少年赤十字加盟校から多くの義援金をいただきました！

令和元年12月16日(月)に恵那市立明智小学校にて、「令和元年台風第19号災害義援金」の授与式が行われました。

児童たちが募金活動で集めた義援金31,953円を児童会から受け取りました。



明智小学校授与式の様子

令和元年12月24日(火)に関市立博愛小学校にて「令和元年台風第19号災害義援金」の授与式が行われました。

アルミ缶・牛乳パックのリサイクル収益金10,000円を児童会から受け取りました。



博愛小学校授与式の様子

令和2年2月19日(水)に御嵩町立上之郷小学校にて、「令和元年台風第19号災害義援金」の授与式が行われました。

6年生の児童が、1年間募金活動で集めた義援金22,716円を児童会から受け取りました。



上之郷小学校授与式の様子

赤十字講習会のご案内【令和2年6月・7月版】

講習の種類	開催日	会場
救急法基礎講習	6月14日(日) 7月12日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
健康生活支援講習 支援員養成講習	7月8日(水)・9日(木)・15日(水)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
災害時高齢者生活支援講習(短期)	6月18日(木)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 中会議室
こころとこころの架け橋講習(短期)	6月19日(金)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 中会議室
幼児安全法支援員養成講習	6月1日(月)・2日(火)・9日(火) 6月24日(水)・25日(木)・7月1日(水)	岐阜赤十字病院 南館 2階 講堂 高山赤十字病院 3階 大講堂
すくすく子育てサポート講習(短期)	6月10日(水) 7月4日(土)	高山赤十字病院 3階 大講堂 岐阜赤十字病院 南館 2階 講堂
子育て支援ボランティア養成講座	7月2日(木)	高山赤十字病院 3階 大講堂
水上安全法 救助員Ⅰ養成講習	6月21日(日)・28日(日)・7月5日(日)	各務原市民プール

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字社岐阜県支部ホームページをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる可能性がございます。

※詳しい内容等については、事業推進課までお問い合わせください。

毎年5月は「赤十字運動月間」です。

赤十字活動へのご理解とご協力をおねがいします。

世界192か国にある赤十字社は、アンリー・デュナンの誕生日である5月8日を「世界赤十字デー」、また日本赤十字社の創立が5月1日であることから日赤では毎年5月を赤十字運動月間とし、赤十字思想や活動の普及など様々な広報活動を展開しております。

日本赤十字社では、国内の災害救護活動をはじめ、国際救援、ボランティアの育成や救急法講習会の開催、青少年の育成などの活動を行っています。これらの活動は、赤十字の理念や取組にご理解いただいた方々から寄せられる活動資金や寄付等により支えられています。

皆さまからのご支援・ご協力をお願いいたします。



義援金・救援金の受付額（令和2年2月29日現在）

義援金名	受付期間	受付金額
東日本大震災義援金	平成23年3月14日～令和3年3月31日	2,094,931,249
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年4月15日～令和3年3月31日	205,075,637
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	平成29年7月7日～令和3年3月31日	16,720,880
平成30年7月豪雨災害義援金(広域)	平成30年7月10日～令和2年6月30日	22,294,783
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	平成30年9月11日～令和2年3月31日	11,976,572
令和元年8月豪雨災害義援金	令和元年9月2日～令和2年8月31日	636,805
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	令和元年9月18日～令和2年6月30日	1,806,804
令和元年台風第15号東京都義援金 ※終了	令和元年9月30日～令和2年2月29日	373,233
令和元年台風第19号災害義援金	令和元年10月16日～令和3年3月31日	51,748,659
中東人道危機救援金	平成27年4月1日～令和3年3月31日	183,962
バングラデシュ南部避難民救援金	平成29年9月22日～令和3年3月31日	196,149

※義援金・救援金については、受付開始から令和2年2月29日入金分までの合計となっています。